

「橋下氏が兼務できるほど参議院は暇ですか？」

●てるちゃんさんからの質問

選挙の特番を見ていて、維新の橋下氏の発言内容に驚愕しました。彼は「参議院は不必要である」と複数のテレビ局で公言しております。また自身が来る7月の参議院選挙に出馬するかの如き発言もしております。「参議院は衆議院のカーボンコピーで意味がなく、暇であるから大阪市長との兼務は可能」とも述べていました。驚愕すべき事です。ワイマール共和国でもそうでしたが1院制は極めて政治的に危険です。今回も、自民党の参議院議員の先生方の頑張りで、何とか民主党の売国政権を追いつめることが出来た訳です。安倍総裁は憲法改正では「維新の協力に期待」とおっしゃっておられます。9条改正には大賛成ですが、2院制を1院制にすると主張する「維新」の主張には納得出来ません。西田先生の御意見を御聴かせ下さい。

●西田昌司の答え

参議院を無くして一院制にするには、憲法改正が必要です。簡単には出来ませんから、心配することはありません。橋下さんについては、いちいちこの人のやることに答える必要もありませんが、一言で言えば「何も考えていない人」です。参議院が不要と言いながら、そこに出る理由もよくわかりません。来年の参議院選挙に出ようにも、市長をやっていたら出られないから、兼務できるようにしよう、と橋下さんは言いますが、そんなことは、はっきり言って出来るはずがありません。

市長職は本来、かなりハードです。真面目に市長を務めようとする、毎日市役所に行って、役人の話を聞くとか、様々なことについてリーダーシップを発揮して指示しなければなりません。それだけではなく、それぞれの地域の活動もあり、それらに参加して、市長として表彰状を手渡す等、大阪の顔としての仕事が沢山あり

ます。橋下さんは、このようなことをしなくても、テレビに出ることで済ませていきますし、発言も言いっ放しです。大阪市民が選んだ市長ですから、このような市長でも仕方ないのかもしれませんが、問題は参議院議員との兼務です。

国会はほとんど通年国会ですし、沢山の審議があります。国会は法律を定めたり、議論をする場ですが、国会議員は国会以外にも党の部会にも出なければなりません。党ごとに、朝から部会をやって、様々な法律についての解説を聞いたり、意見を言ったりします。法律を作るための国会の議論の前段階の、党内の議論が非常に重要です。これらの議論を毎日、朝からずっとやっています。これらの議論の中で、様々な知見が身に付き、それぞれの仕事が段々はっきりとしてきますが、このような部会の仕事はかなりあります。国会の閉会中でも、部会があったりします。

真面目にこのような仕事をする、参議院議員だけでも、体一つでは足りないくらいです。一方で、部会も国会も出ずに、地元で選挙活動だけをしている人もいますが、このような人も同じ給料をもらっています。橋下さんも、参議院議員という肩書だけをもらって、部会（日本維新の会に部会があるかどうかは知りませんが）も国会も出ずに済ませるつもりかもしれませんが、もしそうであれば、思い上がりです。国民の声を聞いて法案を作ったり、いろいろな対策をしたり、違う意見の人と議論をして納得してもらったりして、党と国会だけでも大変に忙しいのに、どうやったら首長の仕事を兼務出来るのでしょうか。

大阪維新の会は大阪都構想を実現するための法律を作りました。本来であれば、大阪府と大阪市で、条例制定に向けての準備をしなければなりません。法律を作っただけでその後は何もしていません。橋下さんはこの前の選挙中は、選挙活動の邪魔だということで大阪市の議会も止めました。大阪にはおらずに全国を回りながら給料は大阪市からもらっています。大阪市民はこれでも黙っていられるのでしょうか。さらに国会議員になって給料をもらおうと言うのであれば、呆れてしまいます。

市長と参議院議員の兼務は物理的に不可能ですし、このことに賛同する人も多く

はいませんから、兼務が出来る法律が通ることはありません。橋下さんの言うことにいちいち答える必要はありませんが、彼はいつも単なるパフォーマンスで言っているに過ぎません。国会での議論も大事ですが、その前段階の党内の議論が非常に重要です。橋下さんはこのことをご存じないのでしょうか。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>